

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 令和元 年 6 月 27 日

仕事の内容	廃棄物最終処分事業			
担当部署・課長名	ごみ対策	課	ごみ減量	係 課長名 中山 仁

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	4 - 7	-
【施策名】 ごみ減量とリサイクルの推進		総合計画書 (ページ)	97	

予算名	款 4 衛生費	項 2 清掃費	目 2 塵芥処理費	事業 2 ごみ処理事業費
-----	---------	---------	-----------	--------------

1	この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 エコセメント化施設へ搬入する焼却灰 民間の再資源化処理施設に搬入する破碎不燃物	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） エコセメント化施設への搬入割当量
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 焼却灰は、施設への搬入割当量を踏まえ、エコセメント化を実施する。 破碎不燃物は再資源化処理を行う。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 施設へ搬入した焼却灰 / 搬入割当量 × 100 埋め立てた破碎不燃物 / 搬入割当量 × 100	
	③ そのために何をしましたか。 小平・村山・大和衛生組合で中間処理した焼却灰は二ツ塚処分場へ搬入した。 破碎不燃物は民間の再資源化処理施設に搬入した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 二ツ塚処分場への搬入量 焼却灰 1,793トン 破碎不燃物 0m ³	

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	トン m ³	焼却灰1,624 不燃物 39	焼却灰1,551 不燃物 21	焼却灰1,638 不燃物 15	/	/
		成果指標	②の数値	%	111.5	116.7	109.5	/	/
		目 標	②の目標値					/	/
		目標値設定の考え方							
	活動指標	③の数値	トン m ³	焼却灰1,810 不燃物 10	焼却灰1,810 不燃物 10	焼却灰1,793 不燃物 0	/	/	

3	経費	事業費（実績）		円	230,373,000	224,518,000	221,483,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）	
		財源	一般財源	円	230,373,000	224,518,000	221,483,000		
			特定財源	円	0	0	0		
				(うち受益者負担)	円	0	0		0
		人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0		
			所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
			職員人件費(再任用以外)	円	8,267,000	8,253,000	8,244,000		
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
		事業費+人件費	円	238,640,000	232,771,000	229,727,000			

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4	環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。
		昭和55年11月1日、一般廃棄物の最終処分を広域的に行うことを目的として、多摩地区25市1町で一部事務組合を設立して開始した。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
		平成18年度以降、エコセメント化施設の本格稼働に伴い、焼却灰は埋立てをしていない。 平成30年度からは、破碎不燃物の埋立は行われておらず、民間事業者のもとで再資源化されている。

仕 事 の 内 容	廃棄物最終処分事業			
担当部署・課長名	ごみ対策	課	ごみ減量	係 課長名 中山 仁

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	実際にエコセメントが使われている場所を知りたいと問い合わせがあった。		

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）		
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容		
	焼却灰については、搬入割当量を大きく上回っていることから、廃棄物の発生抑制と分別の徹底に努める必要がある。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 フードドライブについて継続して取組み、イベントにおいて家庭で余った食品の回収を行った。 食堂に食品ロスの減量をテーマにしたテーブルトップの設置を行った。 可燃ごみのうち紙ごみが占める割合が大きいことから、紙類の分別に関する広報や雑紙回収袋の配布を継続して行った。		
(3)(2)を踏まえた今後の課題			
焼却灰については、搬入割当量を上回っていることから、引き続き、廃棄物の発生抑制と分別の徹底に努める必要がある。			

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	家庭廃棄物の有料化により一定の減量効果を得ているが、さらなる減量が必要であることから、発生・排出抑制を強化した周知等を行う。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
廃棄物広報紙「ごろすけだより」やごみ分別アプリ等の活用により、市民・事業者の廃棄物減量を求めていく。			
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			

成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は削減する。
----	-----------	----	-------------